

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2011年 5月 29日 50

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp



ゴヤの苗

### 道路修繕は



旧白方小裏門側通り

いたる所がでこぼこで危険な旧白方小裏門側通りの生活道路の修繕はどうなっているのか？村に尋ねました。

道路整備課では、「この通りに埋まっているかなり太い下水道管が傷んでいるため、国の補助申請をした。

今週回答が来る予定になっている。決定しだい補正予算を組み6月議会で承認を得て、実施の予定です」と言うことでした。すみやかな復旧を望みます。

### 6月議会日程

傍聴は、議会事務局窓口で記名後、自由にできます。

- 6月 1日 水 午前10時 本会議 開会  
議案上程及び議案説明  
請願・陳情
- 6月 8日 水 午前10時 本会議 一般質問
- 6月 9日 木 午前10時 本会議 一般質問
- 6月10日 金 午前10時 本会議 一般質問
- 6月15日 水 午前10時 本会議  
議案審議 閉会

大震災から3カ月がたとうとしています。村内では、当初の混乱も少し落ち着きがみえて来たでしょうか。

その分、あの時こうすればよかったなど、これから

の防災に強いまちづくりへのご意見が色々聞かれます。はやくこころ穏やかな暮らしに戻していきたいものです。まもなく6月議会です。この間寄せられたみなさまからの声をお届けします。

### り災証明

村は、役場議会棟1階 101会議室で、平日 午前8時30分から午後5時15分までり災証明の受付を行っています。16日現在、約2,600件をこえる申請があります。

り災証明書は、税の減免や支援金を受けるための申請ではなく、内閣府の被害認定基準に基づいた判定で、「全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊」の4段階です。その中で一部損壊は、約880件ですが、支給される支援金はありません。屋根がわらが崩れ、家の中は壁もはがれ、タンスが倒れるなどごちゃごちゃになった室内を片づけながら写真を50枚用意し、申請書の手続きを行った74歳になる一人暮らしの女性は、判定が一部損壊でした。「もうここには住んでいたくない」とアパートを借りて 移りました。

アパートにはいるにあたって、今後住いを取り壊すにあたってかなりの出費が伴います。

日立や常陸太田市で行っているように村独自の支援制度が必要です。



一部損壊と判定の家

【バックナンバーは 川崎あつ子検索でお読みいただけます】

## 「原発撤退を求める署名」開始

「原発事故の収束が震災復興の出発点だ」という福島県のみなさんの思いをよそに、1・2・3号炉のメルトダウン（炉心溶融）、さらに高濃度の放射性物質の汚染水が大量にもれ出ているなど様々な報道がされています。放射能の影響で茨城県内の新茶が出せないなど深刻な事態が発生しました。

福島第1原発事故は、原発の危険性を全ての人の前に事実を持って明らかにしています。

日本共産党は、「原発からの撤退を求める署名」運動を開始しました。自然エネルギーの開発・促進に本気で取り組む大きな波をおこしましょう。

### 日本科学者会議 岩井孝さんのお話から

備えがあっても地震と津波という「天災」は防げないが、備えていれば原発事故は防げたので「人災」です。「全交流電源喪失」が起こると短時間で炉心損傷に至ることは明らかです。この事を国も電力会社も真剣に想定しなかったことが、今回の重大事故と事態拡大になった大きな原因です。

放射線は出来るだけ浴びない方が良いでしょう。しかし、これだけの事故が起きたので「ゼロ」と言うわけ

にはいきません。被ばく、野菜、水、魚などの「暫定基準値」とは、ある根拠をもとに、「これくらいはがまん」という指標です。農産物、観光などの被害のすべてを「風評被害」としないこと。放射性物質が広い範囲で放出されたことは事実であり「実害」です。



22日 白方コミセンにて

## 原発からの撤退を求める署名

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

### 【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質（死の灰）をかかえています、それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。

歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。以上をふまえて、私たちは、原発からの撤退を要求します。

### 【請願項目】

一、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |

【取り扱い団体】